

あ し は ら

令和5年4月14日（金）発行
校長 辻 井 美 恵
北九州市小倉北区足原二丁目8番1号
TEL: (093) 921-3206

＜学校教育目標＞ 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実 確かな学力の向上を図る教育
＜目指す子ども像＞ いきいき にこにこ もりもり
【自分から学ぶ子ども…いきいき】【思いやりのある子ども…にこにこ】【たくましい子ども…もりもり】

小学校ってどんなところ？～スムーズな保幼小連携を～

小学校は、これまで通っていた園とは環境が大きく変わります。幼稚園や保育園での自由な活動や遊びを中心とした生活から、規律を重んじ、時間が決められた中での集団行動が多い生活へと変化します。

【時間割に沿った規則正しい生活に】

園時代は、おおまかな時間の流れの中で過ごすことが多かったのではないのでしょうか。小学校になると、1時間＝45分の授業を1日4～5コマなど、時間割に沿って規則正しく過ごすことが多くなります。園と比べて自由な時間が少なくなり、最初は窮屈さを感じる子もいるようです。

【一人で登校するようになる】

小学校の場合、基本、一人で登下校することになります（集団登下校もあります）。決められた通学路を通して、寄り道をせずに登下校するように、学校で指導していきますので、保護者の方からもお話をお願いいたします。

【勉強が始まり、宿題が出るように】

小学校では、文部科学省が制定する「小学校学習指導要領」により教科書が配付され、「勉強」が始まります。学校では宿題が出され、学習態度やテスト結果などから、通知表（あゆみ）により学力を評価されるようになります。

環境が大きく変わり、新しい人間関係がスタートする小学校生活ですが、学校のほうも、子どもたちが早く学校に慣れるよう、以下のような指導を行っています。

☆入学後、しばらくは午前中授業で様子を見ながら、段階的に授業時間を増やしていきます。

☆今後、6年生とペアになって「歓迎遠足」などの楽しい催しを予定しています。など、さまざまな工夫をしながら、子どもたちを導いていきます。

小学校に入学して、できるようになりたい7つのポイント

私の娘は一人っ子で、消極的な性格でもあったので、小学校で友達とコミュニケーションがうまく取れるかどうかとても不安でした。しかし、私が思っていた以上に、楽しく学校生活を送っていたようです（何度が「行きたくない」と言ったこともありましたが）。私の経験から、子どもがすんなり小学校生活になじめるためのポイントを7つ挙げてみたいと思います。

① 自分の気持ちを言葉で表現できるように

「〇〇がしたい」など、自分の気持ちを言葉で表現することが大切です。

② ひらがなで自分の名前が読み書きできるように

ひらがなは、国語の授業で学習しますが、興味を示し、名前の書き方を「教えて！」と言ってきたら教えてあげてください。

③ 「早寝、早起き、朝ごはん」＋朝“便”

「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣をつけることはもちろん、学校のトイレで「大」をするのが苦手な子は、家ですませてから登校するように、生活リズムを整えるといいでしょう。

④ 片づけを習慣づけ、自分の「もの」を管理できるように

持ち物の管理を自分ですることができるよう、家庭でも、オモチャなど、自分で出したものは自分で片づけるような習慣づけが必要だと思います。

⑤ イスにすわって何かに集中できるように

授業では、45分間すわりっぱなしということもあります。何か勉強を始める必要はありませんが、イスに座って集中できる遊びを日々の生活に取り入れるといいかもしれません。

⑥ 苦手な食べ物も食べられるように

給食では、毎日いろいろな献立がでます。最初とまどうことがあるかもしれません。いろいろな物が食べられるよう、家庭で工夫してみてください。

⑦ 時計が読めるように

学校では時計を見ながら授業の時間や休み時間を確認します。「10時」「10時30分」など、30分単位で、アナログ時計が読めるようになっていけると安心です。

新一年生になったわが子を誇らしく、頼もしく思う一方で、「学校の勉強は大丈夫か」「友達と楽しく関われるか」など、心配もつきないものです。しかし、親が心配なことばかりを口に出してしまうと、子どもは不安に思ってしまう。「小学校、楽しみだね！」と、前向きな言葉をかけながら、家族はもちろん、近所に住む保護者の方、地域の方と連携し、学校や地域に少しずつなじんでいけるようサポートをお願いします。